

'08.3

毎月1回20日発行 定価 1部60円  
発行所 兵庫県商工会連合会  
発行人 会長 木南岩男  
神戸市中央区花隈町6の19  
☎078(371)1261(代)〒650-0013  
http://www.shokoren.or.jp/  
編集人 澤田 功  
印刷所 大和出版印刷株式会社  
会員の購読料は会費に含んでおります

第 607 号

# 兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry



## Contents

- 県連合会Letter 2頁
  - ・業務別研修会(商工会税務)
  - ・第3回補助金体系検討委員会
  - ・時局講演会(西播磨地域商工会振興協議会)
- 青年部・女性部Letter 3頁
  - ・県青連・女性連創立40周年記念大会
- 商工会Letter 4~6頁
  - ・地域活力増進事業
    - 産業クラスタ研究会(養父市)
    - ネット販売をもう一つの柱に(稲美町)
  - ・地域資源∞全国展開支援事業
    - “国生みと香り”淡路島の魅力を再発見ラリー(淡路市)
    - 生野鉱山・鉱山町の賑わい観光再生プロジェクト(生野町)
  - ・加東市、太子町、日高町、篠山市

## 感・和・別をコンセプトに 「神鍋冬まつり」

日高町商工会

日高町商工会(岩見勲会長)は、二月二日、神鍋高原の四スキー場(奥神鍋、万場、名色、アツパかんなべ)を会場に「神鍋冬まつり」を開催した。  
神鍋冬まつりは、「感じて・和ごむ・別世界」をコンセプトに地域住民と観光客が一体となって、神鍋高原の魅力を再認識してもらうことが目的。  
当日は絶好のイベント日和となり、千四百人余りの人手で夕方七時まで賑わった。(関連記事を五頁に掲載)

# 業務別研修会(商工会税務)



▲経営改善のポイントを語る田中裕司氏

県商工会連合会は、一月二十九日、福岡町商工会館で業務別研修会(商工会税務)を開催。商工会から二十六名が出席した。

研修会は、事業再生コンサルタント代表・田中裕司氏が「再生企業に見る経営改善のポイント」をテーマに講演。自らが手掛けた再生事業に基づき、経営改善のポイントを指導した。田中氏は講演の中で企業再生には、早めに資金繰表を作成することと問題の早期発見・早期対策が

重要と指導した。

次に、本会の顧問税理士・櫻井繁樹氏が「商工会の税務申告」について講演。消費税法改正のポイントや簡易課税と本則課税を選択した場合の相違について指導。事業所を指導する場合、

## 第二回補助金体系検討委員会

県商工会連合会は、一月十八日、県商工会館において、「第三回補助金体系検討委員会」を開催。協議事項は次のとおり。一、先進地視察研修の報告について

簡易課税と本則課税の相違を十分説明すること。また、商工会合併により本則課税を選択する場合が増えていること。そのため、本則課税計算を理解する必要があると講演した。

二、補助対象職員の新設置基準等に係る要望(案)について

今後、十二月に実施した先進地視察の内容や九月に実施した都道府県連へのアンケート調査を基に、県への補助対象職員の新設置基準や継続雇用制度の導入等を要望していく。

# 時局講演会を開催

## 西播磨地域商工会振興協議会



▲中小企業の課題について語る山本健治氏

西播磨地域商工会振興協議会(春名和光会長)は、一月二十九日、たつの市・志んぐ荘において講演会を開催。商工会役員や会員など百二十名余りが出席した。講師の山本健治氏は、テレビ・ラジオ等で活躍中の辛口コメンテーター。「どうなる?今後の関西の景気と経済」をテーマに、独特の口調で熱弁を振るわれた。山本講師は、現在の中小企業が直面する課題は、カ(価格破壊)・キ(規制緩和)・ク(空洞化)・ケ(経営破壊)・コ(高齢化)であること。これを取り切るには、現場主義と5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)がコストダウンと生産性や品質向上に繋がると力説した。



### 主な行事予定

4月のこよみ

7日(月)～8日(火)  
県女性連監事会・理事会  
14日(月)～15日(火)  
新任商工会職員研修会(神戸市)  
県青連監事会・理事會  
下旬  
県連合会監事会



最高の信頼をめざして。

三井住友銀行

# 兵庫県商工会青年部・女性部連合会創立四十周年記念大会

大会テーマ：**地域の源気、活かせ商工会**

スローガン：**さあ、立ち上がれ!! 明日の兵庫は我らの力で  
連携!! 人と地域を結ぶ女性部**

平成20年2月6日(水)、県商工会青年部・女性部連合会の創立四十周年記念大会を神戸市において開催した。当日は、井戸県知事をはじめ多数の来賓の臨席のもと、県下各地から商工会青年部・女性部関係者約760名が参加。地域振興や新しいまちづくりの原動力となることを誓った。



▲祝辞を述べる井戸知事

第一部記念式典では、木南岩男県連会長が「目標を常に高く掲げ、正しい道徳的倫理観をもち全国に発信して頂きたい。また、地域経済の活性化には、青年部・女性部の提言と行動力が不可欠」と期待を込めて挨拶した。続く、森本匡俊県青連会長



▲開会挨拶をする森本会長、行会長(円内)

挨拶に立った来賓からは、長年に亘って地域の商工業振興や新しいまちづくり、社会福祉の増進に貢献されていることへの敬意と感謝が述べられた。そして、今後、地域資源や個性を活かし、人々がいきいき暮らす地域や活力ある産業をつくって

い。続いて、赤井近畿経済産業局産業部長、井戸県知事、小林県議会議長、末武全国商工会女性部連合会会長が来賓を代表して挨拶。

「地域に必要とされる地域に根ざした事業活動を展開していく」また、行幸子県女性連会長が「地域コミュニティの中核を担うべく、地域間でより一層の連携を深める」とそれぞれ挨拶した。



▲表彰を行う赤井近畿経済産業局産業部長

くために青年部、女性部ならではの視点と活力が必要との祝辞があった。

記念表彰では、近畿経済産業局長表彰が五団体、十一名。県知事表彰が十団体、二十四名。県連合会会長表彰が三団体、七十五名。県青連会長表彰が四十一名。内規による県青連会長表彰が三十九名。県女性連会長表彰が三団体、四十九名。内規による県女性連会長表彰が四十名行われた後、受賞者を代表して藤原晃一郎大河内町商工会青年部長が謝辞を述べた。

## 合同幹部講習会

第二部記念講演会では、評論家・金美齡氏が「『求む!!リーダーシップ』」リーダーの資質を持つ人材を育てる環境整備が必要」と題して講演。金氏は、講演の中でリーダーとしての品

格がどうあるべきかについて語り、T(時間)・P(場所)・O(何をすべきか)をわきまえることが人間の品格をつくと熱弁した。

最後に、森本県青連会長が三本締めを行った後、閉会宣言を行い記念式典を終了した。



▲リーダーシップについて語る金美齡氏



▲パネルによる活動報告

## ◇国生みと香り◇

# 淡路島の魅力を再発見ラリー

淡路市商工会

国生み神話ゆかりの地、淡路島と、香り島の地場産業の体験を通して島の魅力を観光客にアピールしようと、淡路市商工会(三津啓祐会長)は、一月二十三日の両日、「国生みの島・癒しの旅ハイブリッドカー」の「ゆっくらりー」を開催した。

この事業は、地球環境にやさ

しいハイブリッドカーで淡路市内の名所を周遊し、淡路の魅力を再発見していただくことが目的。島内外から四十四台の車と八十八人が参加。遠くは東京から参加されたペアもあった。

初日は、国生み神話で知られる伊弉諾(イザナギ)神宮で安全祈願の後、夫婦円満と子孫繁

## 産業クラスター で地域振興 養父市商工会

養父市商工会(池田勅則会長)では、平成十七年度より兵庫県立大学経営学部と事業連携を行い、経営者大学やインターンシップ事業などを通じて人材育成に取り組んでいる。

今年度、産学連携を更に進めるため「養父市産業クラスター研究会(元気な地域と経営者をつくる会)」を発足させた。

研究会は、兵庫県立大学、経営者、商工会及び行政などと連

携を基軸にクラスター形成に向けた地域振興策を策定している。具体的には、地域資源の棚卸しと再発見。産業クラスターの中核となる企業や産業の洗い出しなどを行っている。



▲新たな企業連携について研究

業を願った神楽の舞を見学した。続いて、二コースに分かれ出発。「パルシェ香りの館」では、阪

神淡路大震災で隆起した野島断層がある「北淡震災記念公園」では、線香の材料となるタブの木を記念植樹するなど市内九か所を巡った。

二日目は、伊弉諾神宮に集合。淡路島の名所案内と記念品を渡し、自由散策をした後、解散した。参加者からは、「このゆっくらりーは、普通の観光バスツアーでは感じる事が出来ないものをたくさん味わえた。こ

## ネット販売をもう一つの事業に

稲美町商工会

稲美町商工会(大西壯司会長)

では、一月二十二日、来る三月に開設するショッピングモールのための準備説明会を開催した。

この事業は、会員企業が自社の「逸品(商品、サービス、技術)」を再認識することで、他社との差別化を図ることを目的としている。現在インターネット上に開設している「もの」「サービス」「技術」のサイトに、新たに「ショッピング」を追加するこ



▲ネット販売に向けて研修

これまでぬくもりを感じたツアーはいままでなかった。」などの感想がきかれた。



▲「ゆっくらりー」前のミーティング

とでの相乗効果を目指すもの。当日は、若手後継者ら十六名が参加。研修は、サイト開設にあたり商品の表示方法、商品登録、決済方法及び在庫管理等の設定について基本操作を習った。研修会は六時間に及んだが、沢山の質問が飛び交う有意義な研修となった。

## 総合相談室・経営安定特別相談室をご利用ください。

兵庫県商工会連合会

■相談窓口(直通)

〇七八(三七七)一三〇九

## 三菱UFJ信託銀行の住宅ローン

ずっと優遇プラン

【全期間一律優遇型】

対象は、平成19年12月3日(月)から平成20年3月31日(月)までにお借り入れ・お借り換えの方となります。

完済まで  
ずっと!

店頭表示金利より

(団体連帯生命保険付)

年1.3%優遇

【全期間一律優遇型】の内容および適用対象について

- 短期金利連動型のみのお取り扱いとなります。
- 【変動金利】または【固定金利(3年型・5年型・7年型・10年型・20年型)】(部度ご選択いただけます)の店頭表示金利から、年1.3%優遇します。
- 提携ローンなど、一部本優遇の対象外となることもあります。
- 他の金利優遇制度および他のキャンペーンとの併用はできません。
- 当社の住宅ローンのお借り換えにはご利用いただけません。
- ※わくしは窓口へお問い合わせください。

# 「いのしし祭」を開催

篠山市商工会

篠山市商工会（畑一弥会長）では、一月二十六日、篠山城跡周辺において「第五回丹波篠山冬の味覚『いのしし祭』」を開催した。

今回は、農林水産省「農山漁村の郷土料理百選」に選ばれた「ぼたん鍋」の発祥の地ということもあり、例年以上に多くの参加者があった。

当日は、雪模様の中での開催。市内飲食店のいのしし創作料理が並ぶ「屋台村」や、青年部開発商品「丹波ワガー」には、五年経っても衰えぬ長蛇の列。また、大人気の「ドドドいのしし猛レース」では、大歓声の嵐。初開催の「いのしし検定」では多くの認定者が誕生。まさに、いのしし尽くしの一日となった。

篠山市の数あるイベントの中で、一番歴史の浅いこの祭りも、



▲ドドドいのしし猛レース

多くの「笑顔」をもたらすイベントに成長した。



▲まつりのフィナーレを飾る花火

日高町商工会（岩見勲会長）は、二月二日、神鍋高原にて「元気ひだか 神鍋冬まつり」を開催した。

神鍋冬まつりは、神鍋高原での開催。関係者は天候を心配していたが、前日までに十分に雪が降り、当日は無風で雨や雪も降らず、最高のイベント日和。初めてのイベントにも拘らず、千四百人もの人出となった。

さらにメイン会場横の広場には、「巨大雪だるま」「かまくら」「滑り台」が出現。夜にはこれらに「ろうそく」が灯り、背後に花火が打ち上げられたりして、冬の夜空に幻想的な雰囲気醸し出していた。

感じて・和んで・別世界

元気ひだか 神鍋冬まつり

日高町商工会

## 新春講演会を開催 太子町商工会



▲開会挨拶をする  
門田商工会長

太子町商工会（門田善一会長）では、一月十二日、あすかホールで恒例の新春講演会を開催した。会場は、一般公募者の中から選ばれた八百名で埋まった。講演会は、各メディアで活躍中の金美齡氏（評論家）による「人間として生きる」がテーマ。自分の体験談をもとに人間のあり方、人との繋がり大切さなどを、時にユーモアを交えながら熱心に説かれた。参加者は、金先生の一言一言に熱心に耳を傾けていた。

講演会では、各メディアで活躍中の金美齡氏（評論家）による「人間として生きる」がテーマ。自分の体験談をもとに人間のあり方、人との繋がり大切さなどを、時にユーモアを交えながら熱心に説かれた。参加者は、金先生の一言一言に熱心に耳を傾けていた。

## お知らせ

### 第六回あったか滝野冬のまつり

加東市商工会

加東市商工会（藤井悦治会長）では、来る二月二十四日、加東市滝野庁舎周辺にて「第六回あったか滝野冬のまつり」を開催する。

留学生による模擬店、北播磨地域の特産品や地元農産物の販売、フリーマーケット、十二単着付体験など盛りだくさんの催しが行われる。是非、ご参加ください。

人と人との温か（あったか）な触れ合いと、こんなものも有ったか、というふるさと魅力再発見をテーマにした数少ない冬のイベント。

当日は、蔵まつり（新酒蔵開き）、OTTYマラソン全国大会、よさこい踊り大会、加東音楽めぐり、商工会青年部・女性部や小・中学生、兵教大



▲昨年開催の第5回あったか滝野まつり



▲生野の活力発信基地「あるじゃん」

「**鉾山の町・生野を情報発信**」  
生野町には、千二百年にわたる長い歴史を持つ生野鉾山がある。

その鉾山の名残として、産業遺産、繁栄時代の鉾山文化の面影を残す歴史的建造物や町並み、生野鉾山に係る人的ネットワーク等の地域資源が豊富である。  
生野町商工会（奥藤博司会長）では、鉾山文化を後世に引き継ぎ、観光客などを積極的に誘致することで人的交流の促進を図る産業観光ビジネスモデルを構築するため、「生野鉾山・鉾山の賑わい観光再生プロジェクト事業」を全国連に提案し採択された。

地域資源∞全国展開支援事業  
**生野鉾山・鉾山町の賑わい**  
**観光再生プロジェクト事業**  
生野町商工会



▲シンポジウムでの記念オブジェ除幕式

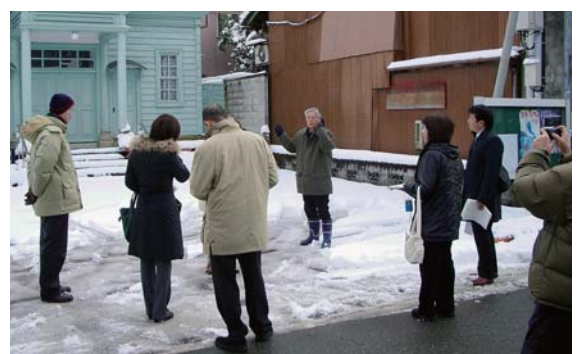
その上で、事業実行委員会は、地域コーディネート機能を強化するため、TMO組織のNPO法人化。また、産業遺産ツーリズムによる地域ビジネスの運営基盤の確立を目指した。

また、旅行社からは、観光再生プロジェクト事業で提案された体験型コンテンツを3月以降のツアーメニューに取り入れたら、との問い合わせが増えており、徐々にその効果が出始めている。

事業実行委員会では、生野鉾山の歴史的資源を活用した体験型コンテンツの開発を企画。参加事業者を募り、町内の空き店舗を活用して当時の鉾山町の生活に触れる取り組みや、地域外からの来訪を促すための情報発信について検討。そして、八月には「生野鉾山開坑千二百年記念シンポジウム」を開催。九月には子どもの頃の秘密基地をイメージした「あるじゃん」を開店した。そして、また、女性業者を中心としたホスピタリティ（もてなし）の向上や観光ガイドの充実などを行うため各分科会を設置し、専門家を交えて具体化した。

仕上げとして、一月十七・十八日の両日、各分科会で具体化したコンテンツを体験してもらうモニターツアーを実施。マスコミ各社や旅行エージェントを招待することで情報発信も兼ねた「受け地主導」のツアー体験を行った。ツアー体験により、それぞれ「プロ」の目から見た観光コース等の問題点を抽出し、それを見直すことで産業観光ビジネスモデルに仕上げていく。

**産業観光ビジネスモデルを構築**  
全国連での採択を受けて、「鉾山の町・生野」と産業遺産の価値を情報発信し、リピーターの創出と地域商業の持続的な発展を図ることを目的に、事業実行委員会（奥藤博司委員長）を設置した。  
事業実行委員会では、生野鉾山の歴史的資源を活用した体験型コンテンツの開発を企画。参加事業者を募り、町内の空き店舗を活用して当時の鉾山町の生活に触れる取り組みや、地域外からの来訪を促すための情報発信について検討。そして、八月には「生野鉾山開坑千二百年記念シンポジウム」を開催。九月には子どもの頃の秘密基地をイメージした「あるじゃん」を開店した。そして、また、女性業者を中心としたホスピタリティ（もてなし）の向上や観光ガイドの充実などを行うため各分科会を設置し、専門家を交えて具体化した。



▲モニターツアーを実施

—中小企業と共に45年—  
商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする

**県共済**

兵庫県火災共済協同組合  
兵庫県共済協同組合

神戸市中央区中山手通7丁目28番33号（県立産業会館内）  
☎ 078-361-8080(代) Fax 078-371-6757  
ホームページ www.Ken-Kyosai.or.jp

安全・確実な1年貯蓄

**ワリショー**

神戸支店  
〒650-0032 神戸市中央区伊藤町111  
☎078(391)7541

半年複利の5年貯蓄

**ワイド**

姫路支店  
〒670-0015 姫路市総社本町111  
☎0792(23)8431

尼崎支店  
〒660-0082 尼崎市東灘波町5-19-8  
☎06(6481)7501

商工中金